

# 貧困で困る人を支援する団体と支援者とのマッチングを行うアプリ

## 目 概要

現状として支援を求めている人や団体のことを支援をしたい側が知るすべが少ないと考えている。支援する側としても食料や生活必需品等を支援する場合、具体的に何が最も求められているかがわかりにくい構造である。支援したいと考えた時にどうすればいいのだろうかという部分から始まり、わからないということから行動を躊躇してしまう可能性があると思う。また、金銭的余裕があり支援をしたいと考えても具体的に何ができるかがわからないということもあると思う。これらの支援を求める側の要望が具体的にわかれば、支援する側の行動もしやすくなるため支援の拡充につながるのではないかと。

## 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

支援を求める側の情報を具体化し、支援側への情報提供で支援の拡充につなげる。必要とされる物や内容が具体化されることで支援者が側としても何をすべきかという行動の指針となり、結果行動する人の増加につなげることができる。支援者が増加すれば物資量の増加へとつながり貧困で困る子供たちへの支援が幅広く手厚いものとなる。

## 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

- ・ 支援する団体側が求める具体化された情報の収集と収集された情報の支援者側への提供を行う。
- ・ 支援者が提供する量や内容を支援する団体側が簡単に確認できるようにする。
- ・ 支援する団体側が物資を受け取るために必要な情報を支援者側がわかるようにする。
- ・ 支援する団体側が物資を受け取る際に費用や人員等の負担がなるべく出ないようにする。

## 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

別の分野であればジモティーの仕組みが類似していると考える。人から人へ希望者と提供者が直接やり取りを行い物の受け渡しができることになっている。子供の貧困を支援の場合、インターネット上で出来るのは寄付金の募集が多く、どのような支援をしているかという報告をしているものはあるが、求める情報を収集及び提供しているものは見つけることができなかった。食料や金銭的支援といった大まかな内容の記載があるが食料の場合、お米や野菜など具体的に何なのか。物資の場合、衣服なのか日用品なのかなど情報は見つけることができなかった。

## 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

どのような支援があったという報告や支援内容を記載しているものはある。寄付を行っている団体や物資の仲介を行っているNPO法人は存在している。（NPO法人むすびえ、認定NPOキッズドア）金銭的な支援ではなく物資的な支援をしたい場合にはこちらの支援のほうが行動できる内容である。また自身で確認をするための電話や聞き込みをするという手間が抑えることが可能である。NPO法人等への支援である場合、自身の支援が具体的にどうなったのかという結果を確認することが難しいが、検討しているアプリであれば支援先の指定ができるので結果を確認しやすい。

## 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

ジモティーの子供の貧困を支援版のようなものを作成する。概要などのつくりはジモティーの形式を採用し、登録内容子供の貧困支援に限定する。ジモティーは掲示板であるがアプリ化し、検索機能等を実装することでマッチしやすさを高める。地域等を限定できれば直接物資の受け渡しや運搬が可能となり素早く支援品の提供が可能である。支援団体側としては必要な物資を提示する。

それに対して支援側が提示されている希望を確認し、提供可能な内容で会った場合には提供を行う。

確認できる団体が複数閲覧可能であれば支援団体側が求めるものにマッチするものを見つけられる可能性が高まり、無駄になることも避けることができる。

物資の情報については官民連携で役所側持つデータを得ることができれば

多くの支援団体側が希望する物資や希望が高まる時期等の把握もできる。

これまでに支援をNPO法人と連携し、支援者からどのような支援があったか、

支援団体側が求めてきたことはどのような内容があったかをデータとして得ることで精度を高めることができると考える。

### 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

・支援団体への周知や物資の受け渡しのための人員確保。

→支援側が直接物資を届けることにすれば支援団体側が受け取りのために人員と時間を確保する必要は少なくなる。

・アプリ自体の周知

→アプリ自体の認知度を上げなければ支援団体側が登録する数および支援者側の母数を増加させることが難しいため支援団体側と協力してアプリの周知をしてもらう。

・食品系など期限があるモノは扱いが難しい側面がある。

→機関等を仲介せず直接物資を届けることで時間の短縮となり期限的な制限を緩くできる。

### 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

形式として参考になる「ジモティー」があるため、時間の短縮につながるのではないかと考えている。

子供の貧困を支援する内容であるため助成金を申請し対応する。

このアプリ自体への支援金も選択肢に含め運営費として活用する。

### 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

支援者の母数や支援物資の量が増えることで子供への支援が幅広く手厚いものとなる。

また支援団体側求めるものをピンポイントで入手することができるようになる。

仲介のNPO法人等の団体を経由しないことで時間の短縮が可能である。